

○ 広報 まえばし

5

風と、歩く、まち

駅に向かう人たちがながめながら、ボクは毎朝散歩する
雨の日も、風の日もだ

特に風にゆれる柳の下を歩く、この季節がお気に入り
さあ、川の向こうまでもう少し——帰ったら朝ご飯が待っている

